

【キューバ医療情報 4 月】

4 月 1 2 日

オミクロンの変異株 BA-2 は、国内 1 0 県で流行している

Granma

保健省疫学担当責任者のフランシスコ・デュラン・ガルシア博士の説明によると、国内の 1 0 県では、病原性は低いものの、感染性の高いオミクロンの BA-2 変異株が流行しているため、感染予防のための衛生的対策を維持する必要がある。キューバでは感染陽性例が減少傾向にある。

今週初めに、マヤベケ、シエゴデアビラ、カマグエイは 1 日で最も多くの陽性例が報告されたが、サンクティスピリトゥス、オルギン、ビジャクララ、ハバナなどの地域では、少しずつ流行を封じ込めることができている。

また、マスク使用義務解除については、世界で一定のバランスがとれるのを待つ必要がある。